

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:令和 4 年 2 月 16 日

事業所名 まなび家大阪

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			施設内全体にタイルカーペットを敷いて、利用者がより過ごしやすいようにした。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			1日の利用者数や支援内容の状況に応じて、シフトを調整している。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		月初に正社員が前月の反省点と今月の目標を設定する会議を行っている。パート職員にはサービス提供時間前の簡易ミーティングによって周知している。
	4	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートで保護者からの要望・苦情等があれば職員間で情報を共有し、改善策を考えて実行している。
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価結果はホームページ上で公開している。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		職員の希望があれば、講演会等の外部研修に積極的に参加してもらっている。
適切な支援の提供	7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		アセスメントに関しては保護者からの聞き取りや、職員や児発管の観察によるところが大きく、客観性にはやや欠けていると考えている。
	8	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	厚労省で公開されているアセスメントシート等を参考にして、標準的なツールとして活用し、支援に生かしていく必要がある。
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月第2・第4土曜日はイベントを行っている。創作活動や料理・工場見学などを企画・実施し、概ね好評を得ている。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に夏休みは宿題が早々に終わることが多いので、個々の学習課題を設定し、支援を行っている。
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動の担当者が異なる場合が多いため、情報共有をして個別支援計画作成時の資料にしている。
	12	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前中に各職員が前日の活動で気になった点や問題行動だと判断した事、保護者からの連絡事項等を報告し、情報共有を徹底している。問題行動には職員全体で対処している。
	13	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		各職員が気になった行動については、出来るだけその日のうちに児発管に報告するようにしているが、送迎等の関係で職員間でのミーティングは難しい。
	14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の活動と共に、気になった点などはエクセルで記録を取り、パソコンの共有データとして職員が随時閲覧出来るようにしている。
	15	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			事業所のモニタリングと相談支援事業所を交えたモニタリングを通して、現状の課題等を把握するようにしている。
	16	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		正社員については今一度ガイドラインの熟読を励行し、業務内容の改善に努める。